

～今後の予定とお願い～

「なじみのクラシックコンサート」のご案内

平成23年2月6日(日)14時より ぎふ県民ふれあい会館内サランカホールにて
 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
 「なじみのクラシックコンサート」が開催されます。
 各地で活躍しているプロのフルーティスト、ピアニスト、チェリストによるクラシック
 コンサート。

0歳の赤ちゃんからお年寄り、障がいのある方も一緒に歌ったり気軽に本格的な
 クラシック音楽を楽しんでいただけるコンサートです。

チェロとピアノはハッピーニューイヤーコンサートでも演奏して下さった宮澤等氏
 と山本実樹子氏です。

チケットは一般1000円、小中学生、障がい者とその介助者一名、高齢者は500円
 となります。

なじみのふるさとポコアポコメンバーも歌などで登場予定です。

詳しくはチラシなどでお知らせ致しますので、どうぞ皆様ご家族、知人などお誘い
 あわせのうえ足をお運び下さい。

コンサートのお問い合わせはなじみのふるさとTEL・FAX058-245-5120ま
 で。

「なじみのふるさと」研究委員会を立ち上げました

小さくても、きらりと輝かせつでありたい。みんなが集まればもっと強くなれる。
 そんな思いを胸に、地域や全国に「なじみのふるさと」から多くを発信するためにこ
 の度研究会を発足ことになりました。

今後の活動としては喜多理事長を中心としながら、福祉や保育の分野では今日
 大きな問題となっている「家族への支援」を主な課題として取り組んで行く予定で、
 年一回程度の研究会を開催し、2年後に研究の成果を一冊の本にまとめて出版し
 たいと考えています。

研究会は役職や職歴は関係なく誰もが自身の考えを自由に語れる場とし、理論や
 理屈だけではなく現場の優れた実践や過去の経験からの教訓なども積極的に取り
 入れるものとしたいと思います。今後の予定は随時お知らせ致します。

世話人(研究員):小口 将典

＜お 願 い＞

* 平成22年度も残り少なくなりました。引き続き会員の更新と会費の納入をお願い致します。
 新規会員も常時募集しております。

* お米の購入、乾物類、手芸品、石けん等購入へのご協力をお願い致します。
 皆様のご協力が法人、そして働くメンバーの大きな力となるのです。お米は配達、地方発送に
 も対応致しますのでお知り合いなどご紹介いただければ幸いです。

* 施設利用者を募集します
 現在自立支援法に基づいた、旧制度での福祉作業所のような事業所の開設準備をしておりま
 す。それに伴い、そちらを利用していただけの障がいのある方を募集しています。お心当たり
 のある方、お身内やお知り合いなどご紹介いただけますと助かります。
 ご相談は随時受け付けております。

NPO法人なじみのふるさと ホームページ<http://www.hpmix.com/home/najimi/index.htm>

事務所 岐阜市切通5-10-20 小島宅 (長森南小学校南)

電話・FAX 058-245-5120 メール k_kojima@hb.tp1.jp

完成しました

前回のお便りで`作業場作り`のお知らせをしましたが、2010年
 12月完成いたしました。

設計からはじまり、ほとんどの作業工程は酷暑となった夏から秋
 にかけて行われました。資金が非常に乏しい中で始まった作業場
 作り。少ない予算でどのような建物が出来上がるのか正直不安も
 あったのですが、いざ出来上がってみると10坪とは言え写真のよ
 うにととも立派な建物になりました。

これも厳しい条件の中、また暦が秋になっても暑さが続く中建設作
 業に携わって下さった皆様のおかげです。

本当にお疲れ様でした。

今後の利用方法ですが、昨年度から続けられているお米の精
 米、手芸、石けん作りなどの作業を行う場としてだけではなく、販
 売スペースやカフェスペースも併設する予定です。

多くの皆様のお力添えで完成した建物ですから利用者さんや関
 係者のみならず地域の方やお子さんも気楽に寄れるような場所に
 していきますのでどうぞご期待下さい。

また、事務所の建物はサロン「和っか」の活動を中心に今までと
 変わりなく利用していきます。

また、現在、法に基づいた事業の申請準備をしています。

それにより今までは無認可の福祉作業所のような形で精米作業
 や手芸などをしてきましたが、認可施設として事業を進めることが
 出来るようになります。

そちらの利用者も募集していますのでお心当たりがあればご連絡
 下さい。



～活動報告～

* 和っかコンサート *

8月1日、ドリームシアター岐阜にて 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業である、和っかコンサートが開催されました。

第一部は地域の子どものピアノ演奏とポコアポコメンバーによるピアノ演奏、そして子ども達とポコアポコメンバー合同での楽器演奏

第二部はゲストである「ハングドラム」奏者プラブ氏による演奏

第三部は設立記念交流会でも行われたドラムサークルと盛りだくさんの内容でした。

第一部は皆さんもうすっかり慣れた様子で和やかな中にも緊張感を持って日頃の練習の成果を発揮されていました。

ほぼぶっつけ本番状態だった合奏ですが、皆さんステージ上で良い顔されていたのが印象的でした。

第二部の「ハングドラム」ほぼ全員が初めて目にする楽器だったでしょう。実際非常に珍しい楽器だそうです。

演奏者のプラブさんはインド出身で現在はオーストラリアを拠点に演奏活動をされています。ハングドラムの音色は非常に心地よく、会場の皆さんは思い思いに身を任せ聞き入っておられました。後半はドラムサークルのファシリテーターでいらっしゃいます葛山氏のジャンベとセッション。とても息のあったセッションでした。

第三部は葛山氏のファシリテーションによるドラムサークル。コンサート会場に準備されていた色々な太鼓に興味津々だった子ども達。それぞれ気になっていた楽器の前に座り、観客席の皆さんにも楽器を配ってスタート！はじめは恥ずかしそうだった子どもも観客席でだんだん乗ってきてプラブさんも参加され、文字通り会場全体が一体になったところで終了となりました。目標に向かって練習する、観客に見られるという緊張感を持ちながらも成果を発揮する。と言う体験は自己肯定感に繋がると思うので、それぞれのメンバーに無理の無い範囲で地域の子どもの巻き込みもつづめて行って行きたいと思っております。



＜活動紹介＞

* 土日活動 ポコアポコメンバー *

なじみのふるさとのメンバーと普段は他の施設等で働いているメンバーの余暇活動としての位置づけで行われています。

20年以上前からピアノ教室に通っていたメンバーが主体で始まったのですが、数年前からピアノを習いだした人、1年ほど前からメンバーに加わった人もすっかりピアノが上手になりました。コンサートではそれぞれが得意な曲を披露し、土日活動の場では皆さん自主的に練習を積んでレパートリーはどんどん増えています。

ピアノ以外では買い物、昼食作り、おやつ作り、芋掘り、季節の行事を楽しんでいます。特に調理ではそれぞれ得意な作業行程が出来つつあり自信を持って取り組む様子が見られるようになってきました。

また、芋掘りでは地域の方と交流したり、行事の際には特別支援学校に通う中学生を招いて共に楽しんだりお世話したりという活動を通して社会人としての自覚や他者のために何かをする喜びを感じられるような取り組みを心がけています。

買い物では食事作りに必要な食材を選ぶ、予算に応じた買い物をする練習を楽しみながら行っています。

= 土日活動参加者の声 =

Tさん・・・手芸が楽しい。ホットケーキが上手に作れる。昼休みはテレビみとる

Hさん・・・料理が楽しい。ピアノでアンパンマン弾いた。

Mさん・・・みんなと一緒に料理したりするから楽しい。昼休みにみんなでおしゃべりしたりテレビ見たり出来る。ピアノを練習して出来るようになった。

Sさん・・・土日活動は楽しいよ。みんなと仲良くして、いつもお料理して楽しい。カラオケやりたいよ。ジャパンレンタカーでやりたい。クリスマス会楽しかった。いろいろ教えて欲しい。いつも来たい。

